

画像の認識・理解論文特集の発行にあたって



画像の認識・理解論文特集編集委員会

委員長 藤吉 弘 亘

本特集は、2018年8月5～8日に札幌で開催された画像の認識・理解シンポジウム（MIRU2018）に関連して企画されたものである。21回目となるMIRU2018では、102件の口頭発表候補論文の投稿があり、厳選なる評価に基づきプログラム委員会が口頭発表30件を選定した。また、選定プロセスを経ずに発表可能な場として、ポスター発表224件、デモ発表9件、企業展示30件があり、加えてトップカンファレンス発表者が国内向けに研究を紹介する10件の招待講演を行った。過去最高となる約750名の参加者のもと、萌芽的な研究から完成度の高い研究まで幅広い研究発表に対し、活発な議論が展開された。

本特集は、MIRUで発表された初期段階の研究に対して進展した研究を発表する機会として、MIRU開催とともに連動して企画発刊された。2000年代では毎年40～70件の投稿があったが、過去5年間は顕著な減少傾向にあり、今回の特集は5編の投稿であった。MIRUで発表された研究はトップカンファレンスに投稿されるようになり、日本からの発表件数は著しく増加し、国際的プレゼンスの向上に貢献しつつあるといえる。本特集の役割は十分に果たしたと判断し、今回

で特集を一旦休止とすることとした。有終の美を飾るべく、本特集では厳正な査読を行い、3編の論文を採録した。うち、1編はMIRU2018において口頭発表に選ばれた論文であり、「MIRU2018推薦論文」として掲載した。

最後に、優れた研究成果を投稿してくださった著者の方々、投稿論文を丁寧に査読してくださった査読委員の方々に御礼申し上げる。そしてなにより、論文誌の信頼性の礎となる厳格な編集委員会実務に際して、きめ細やかな配慮をもって大変な御尽力を頂いた編集幹事の佐藤智和氏、近藤一晃氏、山下隆義氏と川崎洋編集副委員長、また長期間にわたり多大なお力添えを頂いた本特集の編集委員の皆様にご心より御礼申し上げます。

ふじよし ひろのぶ
藤吉 弘亘（正員） 1997年中部大学大学院博士後期課程修了、1997年米カーネギーメロン大学ロボット工学研究所Postdoctoral Fellow、2000年中部大学工学部情報工学科講師、2004年中部大学准教授、2005年米カーネギーメロン大学ロボット工学研究所客員研究員（～2006年）、2010年中部大学教授、2014年名古屋大学客員教授。計算機視覚、動画像処理、パターン認識・理解の研究に従事。

画像の認識・理解論文特集編集委員会

委員長	藤吉 弘 亘
副委員長	川崎 洋
幹事	佐藤 智和・近藤 一 晃・山下 隆 義
委員	井 尻 善 久・五十川 麻理子・入 江 豪・岩 村 雅 一
	牛 久 祥 孝・内 田 祐 介・小野口 一 則・河 合 紀 彦
	川 西 康 友・坂 上 文 彦・酒 井 智 弥・柴 田 剛 志
	島 田 敬 士・武 口 智 行・西 山 正 志・橋 本 学
	日 野 英 逸・山 口 光 太・山 崎 俊 彦